

平成 22 年臨時総代会開催

平成 22 年 10 月 22 日午前 10 時 両総土地改良区会議室において、総代 168 名（現在数 198 名）出席のもと農林水産省関東農政局並びに千葉県農林水産部より多数の来賓にご臨席いただき、臨時総代会を開催いたしました。

ごあいさつ (要約)



理事長 森 英介

今年の用水は、例年のない猛暑と少雨の中、用水不足が大変心配されましたが、皆様方の節水に対するご理解、ご協力をいただき、8月15日に無事終了することができました。

国営事業は、平成 24 年度の完成を目指し進捗率 87% となっておりますが、昨年 9 月の政権交代を機に平成 22 年度当初予算が前年対比で 8 割減の 12 億 4,000 万円と大変厳しい予算となりました。そこで、事態を打開すべく、各方面へ両総事業の重要性を訴えました。また、8 月には森田県知事に第 1 揚水機場にお越しいただき、両総事業の説明をし、協力いただけるとの約束を得ました。

9 月末、平成 22 年度予算において、経済危機対応・地域活性化予備費から 13 億 3,400 万円という予算が両総国営事業に振り分けられました。これも一重に総代の皆様を始め、関係の方々のお力添えによることと深く感謝を申し上げます。

次に、山武郡東部土地改良区との合併については、10 月 8 日に両土地改良区統合整備推進協議会が設立されました。今後は、千葉県土地改良事業団体連合会に合併へ向けての計画策定をお願いする運びとなります。



農林水産省関東農政局
両総農業水利事業所
所長 小泉 勝様

この 8 月の異動で所長として参りました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

国営事業の推進につきましては、順調に進めてまいりましたが、昨年末の予算編成の課程で、大幅な予算の削減がなされました。これを受けて、土地改良区等には関係方面への働きかけを行っていただきました。お陰様で、これらの成果が実りつつあることに感謝を申し上げます。

9 月末に閣議決定された予備費におきまして、当初予算を上回るような追加事業費が認められ、現在、その執行に向けた準備をしているところです。また、平成 23 年度の概算要求に関し、両総国営事業は 22 億 3,500 万円と今年度当初に比べ 8 割ほど上回り充分ではありませんが、要求は認められています。

なお、戸別所得補償制度に加えまして、当管内の水田農業にとっては有望な米粉、飼料用米の生産に対する色々な助成、補助事業の交付金、また管内でも積極的に取り組んでいる農地・水保全管理支払の制度が一部改正し仕組まれています。併せてよろしくお願い致します。



千葉県農林水産部
技監 薄井 厚様

本県は、全国屈指の農業県として発展しております。

しかしながら、昨今の農業農村を取り巻く状況は、農業者の高齢化や後継者問題、耕作放棄地の増大、更新時期を迎えた農業水利施設対策等、多くの課題を抱え厳しい状況下にあります。県では現在、千葉県総合計画である「輝け！ちば元気プラン」を作成し、その具現化のために農林水産部各部門別の計画を策定しているところです。土地改良関係では、農業生産基盤の強化を契機とした担い手への農地集積の推進、老朽化した基幹的な農業施設の機能保全対策を推進する基幹水利施設ストックマネジメント事業等、生産性の高い効率的な農業展開をするため、基盤整備と農業の体質強化に向けた政策を進めていくことが重要であると考えています。県財政が厳しい状況ではありますが、施設の重点化とコスト縮減に努め、活力ある地域農業の実現に向けて、県政策の推進を図って参りたいと考えております。

臨時総代会議事内容

提出議案は原案のとおりすべて可決確定されました。

【提出議案】

- 第 1 号議案 総代会議長並びに副議長の選任について
- 第 2 号議案 平成 21 年度事業報告について
- 第 3 号議案 平成 21 年度一般会計並びに特別会計収支決算について
- 第 4 号議案 平成 21 年度財産目録について
- 第 5 号議案 平成 22 年度団体営事業計画の変更について
- 第 6 号議案 平成 22 年度一般会計収支補正予算（案）について
- 第 7 号議案 平成 22 年度特別会計収支補正予算（案）について
- 第 8 号議案 役員を選任について
- 報告事項 農地転用に伴う地区除外について

